

移動タンク貯蔵所等による軽油の給油・注油等  
仮貯蔵・仮取扱い実施計画書【例 2】

1 目的

震災時により被災地において、災害復興のための重機への燃料補給及びドラム缶への注油を行うために必要な事項を予め計画します。

2 仮貯蔵・仮取扱いをする場所

宮崎市〇〇町〇〇番〇〇号 〇〇工場西側空地

3 仮貯蔵・仮取扱いに使用する部分の面積

約 2, 0 0 0 平方メートル

4 詳細レイアウト

別紙のとおり

5 仮貯蔵・仮取扱いをする危険物の類・品名・数量

第 4 類第 2 石油類（軽油）一日最大 2 0, 0 0 0 リットル

6 指定数量の倍数

2 0 倍

7 貯蔵及び取扱いの方法

- (1) 移動タンク貯蔵所から直接重機への給油及びドラム缶への詰め替えを行う（詰め替えたドラム缶は別途確保する貯蔵場所へ速やかに移動させる）。
- (2) 保有空地を 6 メートル確保する。
- (3) 高温になることを避けるため、必要に応じて通気性を確保した日除けを貯蔵場所に設ける。
- (4) 第 5 種消火設備 1 0 型 A B C 粉末消火器 3 本を設置する。
- (5) 標識、掲示板を設置し、関係者に次の事項について、注意喚起を行う。  
「危険物仮貯蔵・仮取扱所」、「危険物の類・品名・数量（倍数）」、「火気厳禁」

8 安全対策

- (1) ドラム本体にアースを確保する。
- (2) 吸着マット等危険物の流出等の応急資機材を準備する。
- (3) 危険物の取扱いは原則として危険物取扱者免状保有者が行う。

9 管理状況

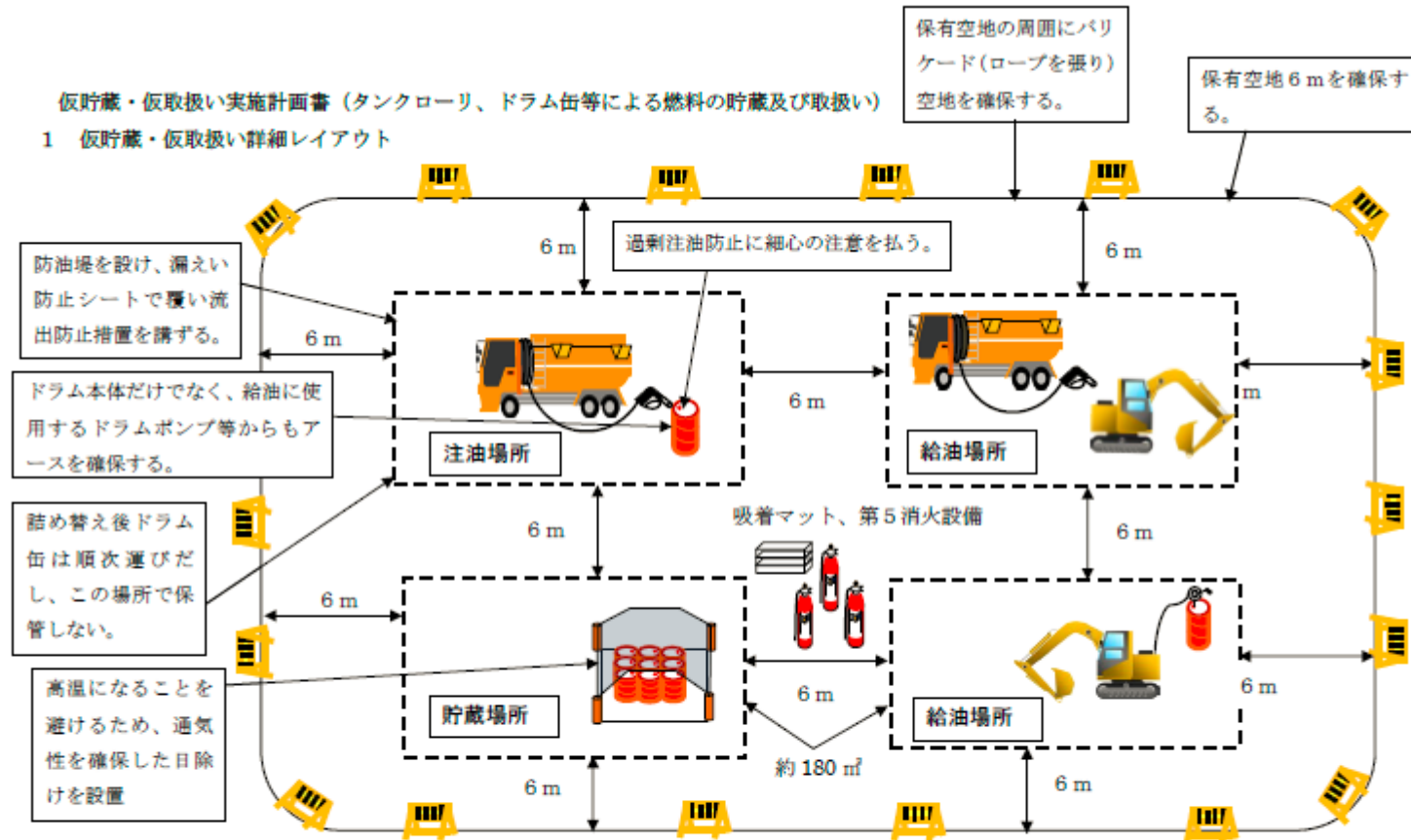
- (1) 保有空地の周囲にバリケード等を設け、空地を確保する。
- (2) 敷地の出入り管理を徹底し、いたずら・盗難を防止する。
- (3) 作業前と作業後に点検を行い、その結果を記録する。

10 その他必要な事項

移動タンク貯蔵所への注油は別の場所で行う。

仮貯蔵・仮取扱い実施計画書（タンクローリー、ドラム缶等による燃料の貯蔵及び取扱い）

1 仮貯蔵・仮取扱い詳細レイアウト



2 標識・掲示板（例）※ 標識・掲示板を設置し関係者に注意喚起を行う。

**火気厳禁**

危険物仮貯蔵・仮取扱所  
 危険物の類・品名・数量（倍数）  
 ・第4類 第2石油類 軽油  
 20,000リットル（20倍）  
 管理者 ○○ △◇○

- ・大きさ、縦 30 cm 以上、幅 60 cm 以上（縦書きでも可）
- ・「火気厳禁」は、字は赤色、文字は白色
- ・「危険物仮貯蔵・仮取扱所」は、字は白色、文字は黒色